



平成 31 年 1 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 魚 力
代表者名 代表取締役社長 山田雅之
(コード番号 7596 東証第一部)
問合せ先 取締役経営企画室長 山田虎生
(TEL. 042 - 525 - 5600)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期の連結業績予想の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 29,200	百万円 770	百万円 900	百万円 750	円 銭 54.54
今 回 修 正 予 想 (B)	29,200	900	1,300	950	69.08
増 減 額 (B-A)	—	+130	+400	+200	
増 減 率 (%)	—	+16.9	+44.4	+26.7	
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	27,517	928	119	117	8.56

2. 修正の理由

営業利益につきまして、既存店に関する売上高が概ね当初見通しに沿って推移し、また、経費の抑制を図れたことが主な要因であります。

また、平成 30 年 10 月 31 日に公表いたしました「営業外収益の計上および平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ」に記載いたしました通り、伊藤忠商事株式会社と連携し米国で鮮魚卸売事業を行ってまいりました持分法適用関連会社であるウオリキ・フレッシュ・インク (米国ニュージャージー州) について、平成 30 年 4 月 6 日同社の臨時株主総会において解散が決議されたことに伴い、平成 30 年 3 月期決算において持分法による投資損失 9 億 27 百万円を営業外費用に計上いたしました。手続きの進捗により会社清算に伴い発生する損失の金額が減少すると見込まれたため、平成 31 年 3 月期第 2 四半期において営業外収益に持分法による投資利益 2 億 47 百万円を計上いたしておりますところ、第 3 四半期においても発生する損失の金額がさらに減少することが見込まれ、これを主な要因とする持分法による投資利益の純増加額は 38 百万円となりました。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の営業利益に関する要因に加え、このことが主な要因であります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上